

BJ ジャーナル 創刊号

2018年2月

目次

巻頭の辞	奥田 純子 1
BJ ジャーナル創刊に寄せて	堀井 恵子 2
依頼論文	
「ビジネス日本語教育研究の目指すもの」再考 ——ビジネス日本語研究会の歩みとこれから——	堀井 恵子 3
日本語教育関係者と企業関係者における異業種の協働 ——企業研修を行う講師育成プログラムの開発——	近藤 彩 16
淘汰されるビジネス日本語教育モデル ——海外グローバル社会のビジネス接触場面からの一考察——	栗飯原 志宣 29
研究・実践ノート	
企業の技術職場に適した実践的日本語教育とは ——コミュニケーション言語能力評価基準の導入——	森島 聡 46
外国籍社員の職場定着に関する事例研究 ——規範の変化に着目して——	ケッチャム 千香子 58
ビジネス上の接触場面におけるコミュニケーション困難点の解明 ——中国の日系企業を一例として——	蒙 韞(韞) 67
編集後記 81